

7/1

支那

# 全国の大学 50以上に 戦争法案反対の声明・運動

大学教職員と学生を 中心とした戦争法案に

です。

反対する声明発表や運動が、全国の50以上の大学に広がっています。30日現在、4面に表。教員たちの呼びかけが「発火点」とな同が広がり、学生たちとの共同がすすんでいるのが特徴です。



呼びかけ人の一人、大日方純夫教授（日本近代史）は「急激に広がったのは、法案に反対の人方が潜在的にいたからだと思います。教員からの声明が一つのきっかけになつてそれなつたのでしよう」といいます。

取り組みを始めている大学のうち約8割は、政府・与党が戦争法案を衆院特別委員会で強行した15日以降に声明を発表しています。川島堅一学長も名を連ねた恵泉女子学園大学（東京）の声明に「時刻が顧在化し意思表示に法を空洞化すること」は、立憲主義への明白な挑戦であり、「戦後民主主義をも根底から破壊するもの」とあるようだ。京都大学でも、「自由と平和のための京大有志の会」の「声明文」が発表され、1948年（昭和23年）7月28日）が賛同していま

うに大学入のあらたな怒りを呼び起こした形

（4面に亘る）